

5年目スキルアップ研修オリエンテーション

5月19日（火）に今年度の小中学校の5年目スキルアップ研修のオリエンテーションを行いました。今年度は、野洲中2名、野洲北中1名、中主小1名、野洲小1名、北野小3名、の計5校8名です。

5年目スキルアップ研修は、これからの教育を担う若手教員の授業力・指導力の向上をめざし、各学校でミドルリーダーとして活躍できるよう、野洲市の教育を支えるための人材育成が目的です。

まず、学校での大半の時間を占める授業において力をつけ、子どもに「分かった」「できた」の思いをもたせ、学ぶことに興味をもたせることが重要です。

そのために、各先生に、授業づくりで注視したい「強化ポイント」を決めていただき、研究授業に臨んでいただきます。以下にあげたものが、強化ポイントです。



5年目スキルアップ研修の様子

導入（課題設定）

ICT 活用

個に応じた指導

発問

表現指導（話す・書く）

主体的・対話的で深い学びになるように、本時の目標と各教科の本時で働かせたい「見方・考え方」、そして「強化ポイント」の関連性を考えながら授業づくりを行っていきます。

研修の予定は以下のようになっています。

1 学期 5月19日 PM ・オリエンテーション（全員研修）
6月 1日～7月10日

・モデル教諭の参観授業と学ぶ会 ・1 学期研究授業（参観）と座談会

2 学期 9月17日～12月11日

・研究授業（参観）と研究会【代表者研究授業（全員研修）は10月1日～】

3 学期 1月19日 PM ・振り返り（全員研修）

各校においては、日程調整やモデル教諭の推薦等ご協力いただきありがとうございます。モデル教員には市内5校11名の先生方があがりましたが、日程調整の関係で、野洲中2名、野洲北中1名、中主小1名、野洲小1名、北野小2名、の計7名の先生方にお世話になることになりました。せっかく授業を見せて、若手育成に協力しようと思っていたのに今回見せていただけなくなった先生方には申し訳なく思います。次年度またよろしく願いいたします。

モデル教諭の授業では、本時の授業の課題設定や主体的・対話的で深い学びになる手立てやしかけ、グループ学習での取り組ませ方、ICT 活用、そして振り返りなどたくさんのことを学ばせていただきましたと考えます。授業後の学ぶ会で、お話を聞かせていただきます。伸びしろのいっぱいある先生のためにご協力いただきますようよろしくお願いします。

校内体制が許すなら、他の先生方もモデル教諭の授業を観に来てください。勉強になります。

（受講者の感想）

- ・少人数でアットホームな雰囲気良かったです。今年度の研修の見通しをもつことができました。
- ・教員をして5年経ち、研修自体の機会が少なくなっていく中で、このような研修があるのはありがたいと感じました。
- ・他校種の先生の授業を観られるのがとても楽しみです。様々な指導の工夫を学びたいと思います。
- ・研究授業があるので、今一度自分の授業を振り返って、よりよくしていきたいと思います。
- ・いろいろな先生の授業を観に行けるのはとてもありがたいです。自分で行きたいと思っていてもなかなか行けないので、実際に見せてもらうのが一番学びになると思います。実践につながります。

今回はこの問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。
答えは、最下段に載せています。

永原氏は、近江の国の守護である〇〇氏の家臣として、
永原城を本拠地としていました。

しかし、足利義昭を奉じ上洛する織田信長が迫ると〇〇氏は
安土にあった観音寺城を捨て甲賀へ逃げてしまいました。
永原氏は信長の重臣である佐久間信盛の配下となりました。
信長も上洛のおり永原城に三度宿泊しています。

永原城は、祇王小学校の用地を中心に広がる大きな城郭です。祇王小学校の校庭には「永原城址」の
石碑が建てられています。

さて、〇〇氏とは、次のどの一族でしょうか。



《祇王小学校で発掘された当時の
永原城土塁跡》

①六角氏

②石田氏

③明智氏

④浅井氏

おすすめの1冊



『支援が必要な子からちょっと不器用な子まで』

子どもの困ったを解決するハッピー文房具図鑑』

ふじい なおみ 著 佐藤義竹 監修 発行元 学事出版

特別支援学級の子もたちが学習や活動に集中できない理由に、文
房具（道具）をうまく使えないためにイライラしたり、やる気をなく
したりすることがあります。そうした子どもたちの困りごとを文房具
から解決する方法を紹介した新刊です。

特別支援学校の主幹教諭・研究主任である佐藤義竹先生に、子ども
たちがどんなことで困っているのか、それを解決するためのポイント
は何かを提示してもらい、それを受けて文房具の専門家・ふじいなお
みさんが悩みを解決するアイテムをセレクト（250点以上！）。

「書く」「消す」「切る」「塗る」など動作別に解決アイテムを掲載。
また、「片付けられない」「すぐになくしてしまう」など、日常生活
の中での困りごとを解決するためのアイデア文房具も紹介しています。
学校の先生のみならず保護者にも紹介することで、子どもたちの学校
生活はハッピーに変わるはずですよ。



『特別支援教育「話したい！」をひきだす わくわく♪ことば教材』

著 秋元 瑞帆・小原路乃 発行元 学陽書房

カラフル＆わくわく楽しい教材で、どの子も思わず話したくなる！
読み書きの土台づくりにも役立つ教材がたくさん！

教材データはQRコードからダウンロード可能！

【こんな子どもの支援におすすめ！】

- ・語彙や表現のバリエーションを増やしたい子に
- ・ひらがなや漢字の形が捉えづらい子に
- ・会話のキャッチボールを練習したい子に
- ・発音がはっきりしない子に

言語聴覚士おすすめの教材を全 50 種類紹介！
遊び方のコツや、子どもの発達段階に合わせた難易度のアレンジも充実
♪